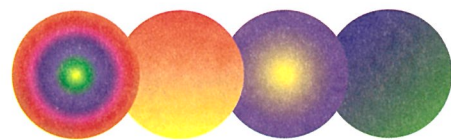


県民と県政のネットワーク誌



ほっと石川

2000
春季号



「木遣り歌にのせて」表紙絵／西のぼる(松任市在住)

特集／いしかわ子どもすくすくプラン

個性と体験、安心の子どものにづくり

◆特集

個性と体験、安心の 子どももの づくりにづくりに いしかわ子どもすくすくプランへ

ふるさとの未来を開く子どもたちの健やかな成長を願い、「いしかわ子どもすくすくプラン」が、十二年度からスタートします。社会環境が急激に変わる中で、この時代に生きる子どもたちがすくすくと育つために欠かせない施策の推進方向を総合的にまとめたものです。家庭と学校、地域の皆さんと力を合わせ、その実現を目指します。

21世紀を担う 子どもたちのために

「いしかわ子どもすくすくプラン」は、「個性と体験、安心の子どもものづくりに」をテーマに、二十一世紀を担う子どもたちが、自然に親しみ、思いやりの気持ちを持ってすくすくと成長できる環境を全県に広げていこうとするものです。

親であれば誰もが持つ「さまざまな体験を通して、友達と仲良く、健康に成長してほしい」との願いを実現するために、「発展・協調・安心」の三つの基本的視点に立って、自然体験、社会体験、健康な体づくりといった施策を展開していきます。

地域全体で子どもを育てよう

プランの策定にあたっては、子どもたちが参加する体験活動の中で、アンケートや作文を書いてもらい、子どもたちの生の声を聴く一方、保護者の方々からもご意見をうかがいました。プラン達成の目標年次は十六年度ですが、子どもをめぐる問題は、ますます多様化することが予想されます。県では、状況に応じてプランの見直しを行うとともに、県や地域全体で子どもを育てる県民参加の運動に発展させたいと考えています。県民の皆さんも一緒に「個性と体験、安心の子どもものづくりに」に参加してください。



- 健康で丈夫な体をつくる。
- 健やかに育つ子育て環境を整備する。



- 団体活動・地域活動に参加し、協調性、判断力、責任感を育てる。
- 社会体験を通じて、人格を鍛え、道徳心を養う。



- 自然、科学、歴史に直接ふれ、単なる詰め込みではない、知性の向上を図る。
- 芸術・文化に感動し、感性、創造力を養う。



■表紙について



七尾市の青柏祭

5月3日から5日までのゴールデンウィーク期間中に行われる、七尾市山王町の大地主神社の春季祭礼で、祭りとしては、能登で最大規模のものです。

五穀豊穡を祈り、神饌を青い柏の葉に盛って供えることから「青柏祭」と呼ばれ、その曳き山行事は国の重要無形民俗文化財にも指定されています。

高さ13メートル、重さ20トン、車輪の直径2メートルという巨大な「デカ山」は、曳き山としては日本一の大きさを誇り、木遣りの歌声に乗って、3台のデカ山が市中を練り歩く様は、まさに壮観です。

思いやりのある子ども

地域の協力で、社会性と思いやりの心を育てます。



対象は県内の中学二年生全員です。夏休みを中心に三日間、地域の商店、農家での職場体験や、福祉施設での介護等の社会体験をしてもらいます。
単なる職場見学ではなく、実際の仕事と現場を体験することにより、働くことの大変さや、多くの人との協力の大切さを実感してほしいと願っています。

仕事の厳しさと喜びを知る

そのような環境にある子どもたちに社会体験から多くのことを学んでもらおうと、「わく・ワーク(work)体験」を実施します。この事業は、いわゆる大人社会を経験する機会が少ない子どもたちにも、職場体験やボランティア活動を体験してもらおうというものです。

子どもたちの家庭生活を見ると、テレビやテレビゲームに費やす時間が長く、親子の会話やお手伝いの時間があまりないとの調査結果が出ています。また、高額のお年玉が与えられ、子どもがお金のありがたみを感じなくなっていたり、自分のしつけの甘さを感じているご両親も多いようです。

地域と共に

「わく・ワーク(work)体験」

職場体験やボランティア活動などの社会体験を積極的に取り入れ、働くことの意味や社会の一員としての自覚を高めます。また、スポーツ少年団や児童館、子ども会など地域での団体活動を充実し、社会性や思いやりの心を育てます。

地域ぐるみでのご協力を

しかしながら、この「わく・ワーク体験」を子どもたちにとって本当に実のあるものにするためには、地域の皆様のご理解とご協力が不可欠です。まだ人間としては成長過程にある中学生たちです。業務の支障になるケースがないとは言えません。「石川の次代を担う人材は社会全体で育てる」という観点から、子どもたちを温かい目で見守っていただければと思います。

【主な事業】

- 地域と共に「わく・ワーク体験」の実施
- みんな集まれ夏休み体験教室の開催
- 「心の教育」石川の提言の普及・啓発など

自ら学び、考え、行動する子ども

体験学習で、考える力と行動する力を伸ばします。



体験学習を自然、環境、科学、ふるさと、歴史などの多彩な分野で催し、受け身ではない、自ら学び、考え、行動する力を引き出します。また、自然体験のほかにも、石川に生きづく芸術や文化に触れ、「本もの」を味わうことで豊かな感性・創造力をはぐくみます。

いしかわ子ども自然学校

最近、屋外で遊ぶ子どもの姿をあまり見かけなくなりました。「野外で遊ぶ楽しさ、自然の大切さを知ってほしい」、そんな願いからスタートさせるのが「いしかわ子ども自然学校」です。十二年度からは、「チャレンジウィーク」「森と田んぼの学校」「親子エコロジーキャンプ」などの事業をスタートします。

「チャレンジウィーク」は、夏休みの七月二十一日から二十七日までを使い、多彩な体験学習を実施。子どもたちが少年自然の家などに泊まり込みながら、登山や溪流下り、シュノーケリングなどを体験します。親元を離れて子どもたちが共同生活する中から、思いやりの気持ちや自主性が芽生えることを期待しています。

生きものの不思議を理解

「森と田んぼの学校」は、水田や山林を学びの場に、自然の恵みや人間と自然とのかわりを知るとともに、田んぼを活用したビオトープ（生物の生息空間）づくりに挑戦し、生きものの不思議や生態系の理解にも役立ててもらいます。

また、「親子エコロジーキャンプ」では、海や山での野外活動を通じて、自然の素

晴らしさや大切さに気づいてほしいと願っています。

体験学習を後押しする指導者を養成

一方、これら石川の豊かな自然を利用した体験学習の推進には、子どもたちをリードする指導者の育成が欠かせません。自然体験学習に関する幅広い知識や技術を持ったインタープリター（解説員）や企画者、高校生リーダーなどの養成にも取り組めます。

自然体験のほかにも、芸術や文化に触れるさまざまな体験学習の推進は、感受性豊かな子どもたちの心身を刺激します。今後は民間団体の皆さんや、広く県民の皆さんの協力も得て、体験活動をよりバラエティ豊かなものにしていきたいと考えています。

【主な事業】

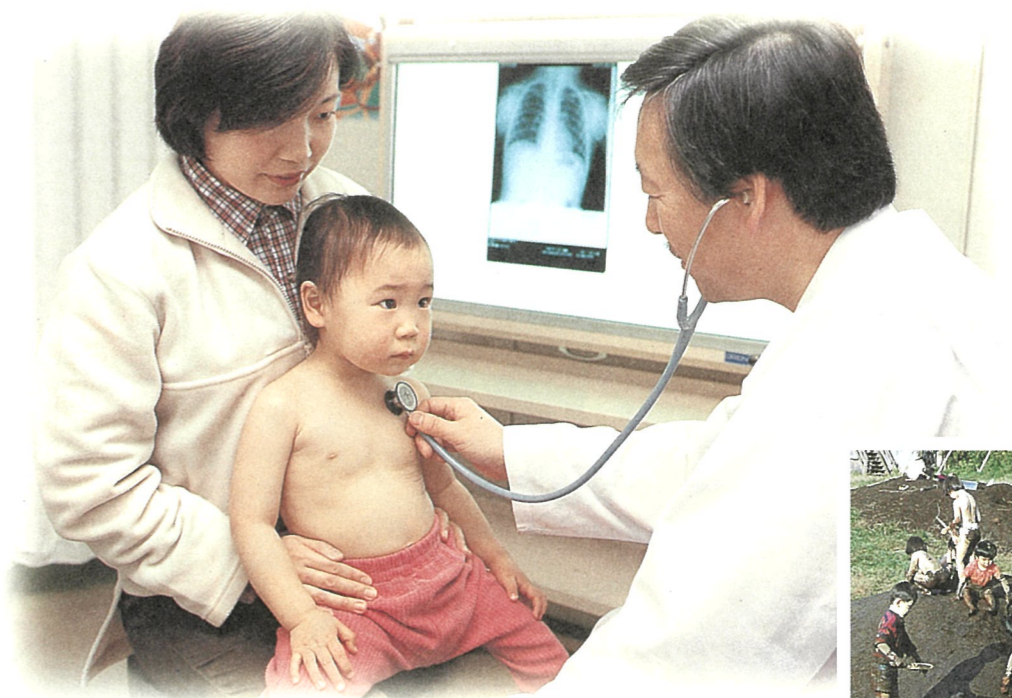
- いしかわ子ども自然学校
- イルカとのふれあいビーチの開設
- いしかわ子どもサイエンスドリームの実施
- 青少年ふるさと発見・ふれあい事業の実施
- 青少年野外活動リーダーの養成など

同時に、子どもたちに職業選択など、自分自身の将来を考えるきっかけにしてもらえたらとも考えています。

また、子どものボランティアに対する関心の高さは、総理府がまとめたアンケート結果にも表れています。「他人の役に立つ」ボランティアの経験は、今後の自分の生き方や社会との接し方を考えるうえで、とても有意義なものになります。

たくましい子ども

子どもの元気な声がひびく環境づくりを進めます。



右：「どろんこプレイパーク」イメージ
写真提供/冒険遊び場情報室 [東京]

小児医療体制を充実し、十分な運動とバランスの取れた規則正しい食生活を進め、健康でたくましい体づくりを応援します。また、子育て支援サービスの充実、仕事と子育てを両立させる雇用環境の整備、子どもの居場所、遊び場づくりにも努めます。

小児医療体制の充実に力

現在、石川県では小児慢性特定疾患（ぜん息、心疾患、悪性新生物等）の医療券を受給する子どもの数が増加傾向にあり、乳児の死亡率も全国平均を上回っています。このようなことから、小児救急医療、産前産後の周産期医療の充実と高度化が必要となっています。

そこで、県では十二年度、保健医療関係者や消防、市町村などによる小児医療体制の検討組織を設置し、救急搬送体制の整備や夜間・休日の小児救急外来窓口の確保などについて本格的に乗り出します。

また、子どもに恵まれないカップルのために、金沢市にある県親子通所センター内に今年七月、「不妊専門相談センター」を開設し、不妊治療の情報提供や精神的なケアを行っていきます。

子どもの居場所、遊び場を拡充

子どもたちの学校以外の居場所づくりにも努めます。県内全域を子どものくんとしとらえる「子どものくにづくり構想」に基づき、子どもたちが自分の好奇心や冒険心に従って、自分の責任で自由に遊べる場所「どろんこプレイパーク」

を設ける準備を始めるほか、放課後児童クラブの充実と障害児の受け入れ、児童館活動の中での子供長児のふれあいを進めます。

多様な子育て支援サービスを

少子化対策も緊急を要する課題です。石川県エンゼルプラン（平成八〜十二年度）に代わる新エンゼルプランを今年度中に策定し、多様な子育て支援サービスの充実に促進します。

そのほか、子どもの健やかな成長を妨げる児童虐待が石川県でも年々増加していることから、児童相談所に子ども虐待防止対応協力を配置し、市町村や保健所なども協力して、早期発見、早期対応に努めます。

【主な事業】

- 総合的な小児医療体制の充実
- 石川の子ども体力づくり推進事業
- 子どものにづくり構想推進事業
- 新エンゼルプランの策定
- 多様な保育サービスの充実
- 放課後児童クラブの充実
- 非行防止の推進など



非行、いじめ、不登校、学級崩壊……。毎朝、開く新聞に、子どもに関するこれらの活字を目にしない日はないほどです。怖いのはそれに慣れつこになり、感覚が麻痺していくことだと思えます。

素晴らしい素質を持ちながら、人間関係の希薄化によって、思いやりや道徳心を育てる場が失われ、ストレスや有害な環境に蝕まれる現代っ子たち。深刻化する青少年問題は、そんな子どもたちの悲鳴にも似た心の「SOS」であり、いま大人が真剣に向き合わなければ、日本の将来に取り返しのつかない結果を招きかねません。

実は、『いしかわ子どもすくすくプラン』を今年からスタートさせる狙いも、一つはそこにあります。多感な子ども時代に、豊かな心とたくましい体をはぐくんではほしい。そして、その実

「体験」は心の宝物

現に向けて、家庭と学校、地域の皆様といまこそ力を合わせていきたい。そんな願いを積み上げながら、プランをつくりました。

そして、プランでは、「体験」がキーワードになっています。なぜかと言うと、体験は子ども心に生涯残るような宝物をくれるからです。

私事になりますが、私は中学二年生までボーイスカウト活動をやりました。不慣れた野営や厳しい規律を時には、苦々しくも思いました。でも、いま振り返ると、その中から友情や忍耐力、奉仕の精神を、自分なりに学ぶことができたという気がします。

もちろん、プランは青少年問題を一掃する魔法の杖ではありません。しかし、たとえ一歩ずつでもやらずにはいられないのです。皆さんの力を、ぜひお貸しください。

まとめ

プラン推進のために

いしかわ子どもすくすくプラン

以上、ご紹介したこのプランは、子どもたちがすくすくと育つ豊かな環境づくりについて、今後、石川県が取り組む方向を示したものです。

子どもたちの置かれている状況を的確に把握し、国の法制度や施策等との整合性を図りながら、石川県の長所を十分に活かしたものにしていきたいと考えています。

石川県全体が子どもたちにとって、夢のある、いわば「子どものくに」となるよう、このプランに肉付けし、血の通ったものにするには、家庭、学校、地域が一体となり、そこに県、市町村、各種地

域団体が加わって、縦横に連携することが重要です。

二十一世紀を担う石川の子どもたちを、県全体で「自ら学び、考え、行動する、思いやりのある、たくましい子ども」にすくすく育てていくための大きな流れを作りだしていければと考えています。

「いしかわ子どもすくすくプラン」への県民の皆さんのご理解とご協力をお願い致します。

【お問い合わせ】

石川県企画開発部企画課
TEL 076(223)9078



どうすれば上手に使える？ 介護保険制度

介護サービスを利用するまで

昨年十月に各市町村で要介護認定が始まってから六カ月。いよいよこの四月一日から介護保険制度がスタートします。要支援や要介護と認定された後、実際にサービスを利用したり、利用している中で困ったことが生じた場合にはどうしたらよいのでしょうか。利用法をよく知って、高齢者や家族の状況に応じたサービスを利用したいものですね。ここでは、ケアプランづくりを中心に、介護サービスの上手な利用法を紹介します。



デイサービスセンターでは、主に午前中に入浴、昼食をとった後、午後は風船バレーやカラオケなどレクリエーションを楽しみます。

介護サービスを受ける前に まずケアプランづくりを

要介護認定を受けて、要支援あるいは要介護（五段階）と認定された場合、実際のサービスを利用する前にまず一人ひとりのケアプラン（介護サービス計画）を作る必要があります。ケアプランとは、利用者にとって必要な介護サービスを組み合わせた計画表のことです。（※図1）

ケアプランは、もちろん利用者自身で作ることもできます。しかし、訪問介護や看護、デイサービスをはじめ、介護サービスの内容が多岐にわたる上、要介護度ごとにサービスを利用する

きる上限額（支給限度額）が定められているので、自分に最適なサービスを選び、組み合わせるのはなかなか難しいものです。

専門的な知識や情報をもった ケアマネジャーが良きパートナーに

そこで、登場するのがケアマネジャー（介護支援専門員）です。ケアマネジャーとは、保健や医療、福祉の専門業務に五年以上携わった人で、さらに県が実施する試験に合格し、実務研修を修了した人のことです。

石川県では、現在までに二、〇六七人の方が研修を修了しており、サー

ビスを必要とする方の支援態勢を整えています。

※図2
これまで、介護サービスを利用する場合、利用者本人が市町村窓口で申し込み、市町村がサービスの種類や提供機関を決めていましたが、これからは、介護に関する専門的な知識や情報をもった相談役のケアマネジャーを良きパートナーに、主体的にサービスを利用することができるわけです。

健康面や生活面での希望を できるだけ細かに伝えよう

石川県介護支援専門員連絡協議会の世話人である西川昭彦さんによると、「介護サービスを上手に利用するた

めに、普段の生活で不自由を感じている点や利用したいサービスなどについてはできるだけ細かに状況や希望を伝えることが大切です」とのこと。そうすることで、本人や家族が気づかない部分でのアドバイスやプランの提案もできるそうです。

ケアプラン作成は無料 心身の状況に応じて見直しも

そのほか、ケアマネジャーは介護サービスが計画に基づいて適切に提供されているかどうかのチェックや心身の状況やニーズの変化に応じてケアプランの見直しを行います。

さらに、実際にサービスを利用して

みて、不都合な点やサービスの内容等

月	午前	午後
火	デイサービスセンター	訪問介護
水	訪問介護	訪問介護
木	訪問看護	訪問介護
金	訪問介護	訪問介護
土	訪問介護	訪問介護
日	訪問介護	訪問介護

※図1
ケアプランの一例
デイサービス(通所)に重点をおいた要介護3の場合

※図2 ケアプランが出来るまで

下図のように、介護保険制度では、ケアマネジャーと利用者が相談を重ねながら、ケアプランを作成していきます。

- Step 1 ケアマネジャーへの依頼**
居宅介護支援事業者にケアプランの作成を依頼し、市町村へ届け出ます（事業者については市町村へお問い合わせ下さい）。
- Step 2 状態の把握**
ケアマネジャーが利用者本人や家族と面接し、心身の状態や現在抱えている問題点等を分析します。
- Step 3 ケアプランの作成**
ケアマネジャーは、サービスに関する情報を提供し、利用者の希望やサービスの内容、利用料を考慮しながらケアプランを作ります。また、サービス事業者を利用者の希望に基づき決めます。
- Step 4 サービス事業者との連絡調整**
ケアマネジャーは、サービスを提供する事業者と具体的な日程や内容について調整します。
- Step 5 利用者の同意**
ケアマネジャーは利用者に計画の内容を説明し、希望に合っているか確認します。
- Step 6 サービスの利用と費用負担**
サービスを利用したときは原則としてかかった費用の割が自己負担となります。
- Step 7 ケアプランの見直し**
利用者の心身の状況の変化等に基づき随時必要な変更を行います。



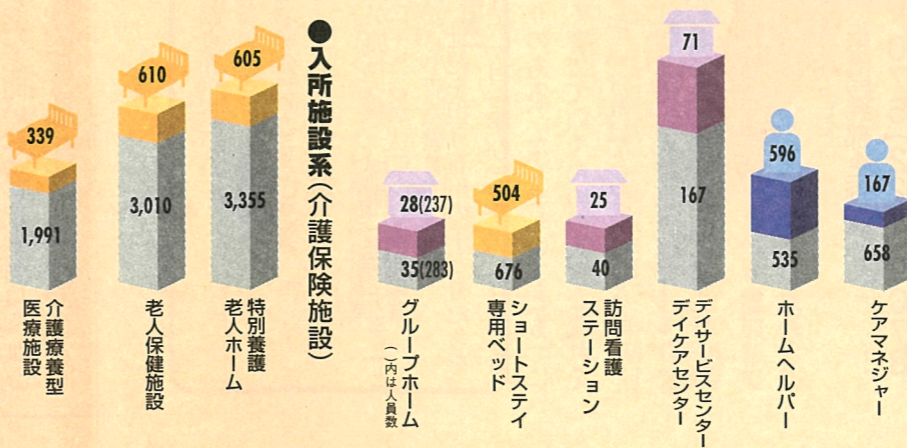
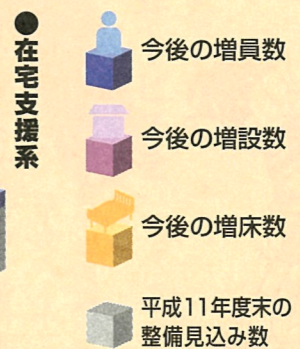
訪問介護ではホームヘルパーが入浴の介助や着替えの手伝いなどを行います。

に不満がある場合や、急な日程の変更などもすべてケアマネジャーが対応します。

ケアプラン作成は無料（全額保険給付）です。毎日の生活をより快適にするために、自分に最適なケアプランを作り、サービスを有効に活用しましょう。

石川県ではサービス体制の 一層の充実を図っています

石川県では、平成十二年度から十六年度にかけて、左記のような介護サービス提供体制の整備を進めます。



介護の必要を感じたら まず申請を

介護保険制度では、介護サービスを利用する前に要介護認定を受ける必要があります。「現在の健康面や生活面で不安がある」「そろそろ介護サービスを利用したい」方は、市町村の窓口まで申請してください。

申請は、本人や家族のほか、お近くの居宅介護支援事業者・介護保険施設のケアマネジャーに頼むこともできます。

サービスへの苦情は 市町村へ

利用するサービスの内容への不満や苦情はお住まいの市町村へ相談してください。

また、石川県国民健康保険団体連合会でも受け付けています。

※介護サービス苦情10番
☎076(231)1110

【お問い合わせ】
石川県介護保険推進室
☎076(223)9127

ほ ほ え み

鶴来町リーダー委員会「あふぎ」

中高生が子ども会活動をサポート



鶴来町内のショッピングセンターでユニセフ募金に協力。

お兄さん、お姉さん役として

「あふぎ」は、鶴来町に住む中高生でつくるボランティアグループで、小学生や園児の参加する行事などにて、地区の子ども会活動を手伝っています。

年齢も学校も異なる七十四人の会員たちは、ある時はゲームで審判をしたり、遊び方を教えたり、模擬店の準備をしたりと、チビっ子たちのよきお兄さん、お姉さん役となって頑張っています。

ボランティア活性化にも貢献

「扇」の旧仮名づかいからつけた

「あふぎ」は、今年で発足から二十周年。中高生が主体となる活発な活動に対して、平成八年度に「石川県健民運動青少年ボランティア賞」が贈られています。

会員資格は高校生までで、高校を卒業した会員の多くが、今度は成人のボランティアグループ「かなめ」に入会するそうです。

このことが、地域ボランティアの活性化にもつながっており、リーダー委員会長の池田美弥さん（金沢高三年）は、「私たちが教わった遊びの楽しさを、今度は教える番だと思っています。活動を通して、ボランティアの意義も学びました」と話しています。



旗源平の進行役を担当。

Interview インタビュー

シドニー五輪トランポリン競技日本代表

なかた だいすけ **中田 大輔**さん
ふる あきこ **古 章子**さん

■プロフィール

中田大輔 昭和49年3月生まれ。美川町出身。金沢学院北国クラブ所属。金沢学院大教務助手。日体在学時代に2度インターハイで優勝、日体大に進学後、全日本学生選手権でも2度の優勝を果たす。95年から全日本選手権5連覇。ホームページアドレス・http://www2.odn.ne.jp/~cbb58680/
古 章子 昭和48年7月生まれ。金沢市出身。金沢学院北国クラブ所属。金沢学院大非常勤講師。金沢二水高時代にインターハイ3連覇、金沢大で全日本学生選手権4連覇、平成元年から10年まで全日本選手権9連覇、世界選手権では7大会連続の日本代表。



トランポリン王国石川から世界のひのき舞台へジャンプ！
シドニー五輪から正式種目となったトランポリン競技に、日本代表として出場する中田大輔、古章子の両選手。九月の本番に照準を合わせ、トレーニングに励むお二人に、オリンピックへの意気込みを語ってもらいました。

..... 全世界が注目する初舞台で、最高の演技を決めたい

中田 大輔さん

ホームページでトランポリンの魅力発信

昨年、トランポリンのことを広く知ってもらおうとホームページを開きました。トランポリンがスポーツとしては、まだ一般の人によく浸透していないので、競技のルールや選手の話、僕の近況などを公開しています。

うれしいことに、石川県はもとより全国から多くの励ましのメールをいただいています。オリンピックへの出場が決まったら街角で声をかけられることもあり、トランポリンが注目され始めたという実感を実感しています。

超難度の新技で金メダルを

よく、プレッシャーはないかと聞かれますが、実は全く感じたことがありません。他の選手が青ざめた顔をしている演技の直前でも、一人で冗談を飛ばすくらい余裕がありますね。これは持つて生まれた僕の強みですから、オリンピックでも落ち着いて演技できると思っています。

僕が四年前に開発した技は、約八メートルの高さからトランポリンの上に着るまでの約二秒の間に、二回半のひねりを加えながら三回宙返りをします。一瞬でもタイミングを誤ると命にもかかわる難しい技で、今のところできるのは僕だけです。



ダイナミックな技で世界の頂点を目指す中田選手（写真提供：北国新聞社）

しかし、世界の強豪も待っていてはくれません。晴れ舞台で周囲をアツと言わせるために、現在これを上回る技に取り組んでいます。世界中の視線が集まる中で、新しい「中田スペシャル」を成功させ、金メダル第一号を勝ち取りたいと思っています。

古 章子さん

好奇心を引き出してくれた母の教育

私がトランポリンを始めたのは三歳のときです。母がトランポリンの指導者だったんですが、母は私を練習に連れていっても、あまり跳ばせてはくれませんでした。

楽しそうに宙を舞う母の姿をうらやましく思いながらただ眺めているだけでした。だから、たまにトランポリンに乗せてもらおうと、もう大喜びでへとへとになるまで跳びはねたものです。

今思えば、母はそうやって私の好奇心を引き出したのでしょね。おかげで今でも「跳ぶ」ということが楽しくて仕方ないし、練習を頑張りたいと思っただけありません。

朗報に現役続行を決意

スポーツ選手にとってオリンピックは特別な存在です。トランポリンが五輪の正式種目になるといううわさは随分前からありましたが、前々回のバルセロナ、前回のアトランタと実現せず、「同じスポーツなのに」と、くやししい思いをしました。国内選手の中では最高齢だったこともあり、引退しようかとまで考えていたんです。

だから、シドニーで正式種目に決まったと聞いたときは本当にうれしかったですね。あきらめかけた夢の五輪の舞台が見えたことで、「よし、もう一度、頑張ってみよう」と自分を奮い立たせることができました。本番では私の持ち味であるエレガントさに、高さを加えた最高の演技で、トランポリンの魅力をアピールしたいですね。

トランポリン 一口メモ

トランポリン競技には、個人競技と4人1チームの団体競技、2人で跳ぶシンクロナイズド競技の3種目がある。シドニー五輪で正式種目になった個人競技には、12カ国から男女各12人が参加を予定。競技方法は、規定演技と自由演技の合計点で競い、10回連続で跳躍する間の姿勢や美しさを競う演技点に、宙返りやひねりを行うことに加算される難度点の合計で評価する。

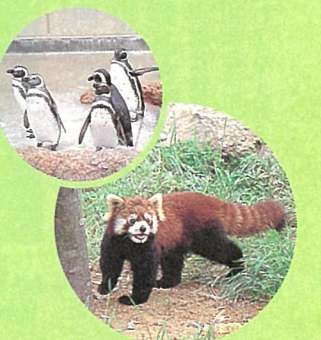
【お問い合わせ】
鶴来町リーダー委員会
「あふぎ」
鶴来町社会教育センター
石川郡鶴来町本町3丁目18-2
☎07619(3)1212



いしかわ動物園

「大きくいい」「かわいくっこ」素顔の動物たちに大歓声!

昨年秋にオープンした「いしかわ動物園」では今、春の訪れを待ちわびていた動物たちが元気いっぱい動き回っています。今回は、金沢市にお住まいの河合さん一家に、ピカピカの新居で初めての春を迎えた動物たちの様子を、リポートしてもらいました。



見学者
金沢市小立野4丁目
河合 伸幸さん(自営業) 百合子さん(パート)
栄拓くん(10歳) 政人くん(8歳)
広樹くん(3歳)



上手に抱っこできるかな?

自然の中で動物たちは元気いっぱい

新しい「いしかわ動物園」を訪れるのは初めてという河合さん一家。特に「大きくなったら飼育係になるのが夢」という動物好きの栄拓くんをはじめ三兄弟にとっては、待ちに待った日です。「動物たちをできるだけ自然の生息に近い環境で育てることを大切にしているんです」との山本康夫園長の案内で、早速キリンなどが住む「アフリカの草原」に連れていってもらいました。

開放的で広い動物舎はサバナを再現した植栽も落ち着き、一緒に飼育されているキリンとシマウマたちが気持ちよさそうに走り回っています。「これなら動物たちもストレスとは無縁でしょうね」とお父さん。栄拓くんたちも、じゃれあっている二頭の赤ちゃんキリンに、「ぼくたちみたいだね」と大喜びです。

ゾウが長くいい鼻でお出迎え

次は人気者、アジアゾウのサニーに会いに行きました。ゾウのサニーはとってもサービス精神おう盛です。

「動物教室」などのイベントも人気

このほか一月からは第二、第三、第四日曜日に楽しいイベントが開かれています。第二日曜には「動物教室」があり、動物の生態やふだんは見られない生活ぶりを紹介しています。第三日曜には飼育員が園内を案内する「動物園ガイドツアー」、第四日曜には「動物映画会」と楽しい行事がめじろ押し。政人くんも「今度は動物教室に来たいな」と早くもお父さんにおねだりしていました。広々とした園内で動物たちに親しんだ河合さん一家は、見学を終えて大満足の様子。「大きくなったらここで働きたい」と夢を語る栄拓くんは、山本園長は「それじゃあ、今は家のウサギを大事に育て、学校の勉強もしっかり頑張るんだよ」とアドバイスしてくれました。



地下のトンネルから顔を出しリカータとご対面。「もっと近くに来てくれないかな」。



ゾウのサニーはとってもサービス精神おう盛です。



仲良くじゃれあう赤ちゃんキリン。



第2日曜の「動物教室」では、動物たちの暮らしぶりを紹介しています。



【お問い合わせ】
いしかわ動物園
能美郡辰口町字徳山600番地
☎0761(51)8500

【利用案内】

●開園時間

午前9時～午後5時(4月1日～10月31日)
午前9時～午後4時半(11月1日～3月31日)
※入園券の発売は、開園の30分前まで

●休園日

毎週火曜日(祝日の場合は、その翌日が休園日)
年末年始(12月29日～翌年1月1日)

●入園料

一般 810円(710円)
中学生以下 400円(300円)
※3歳以下は除く

※カゴ内は、30人以上の団体割引料金

●行事

動物教室…第2日曜日、事前申し込み必要、小学3年生以上

動物園…第3日曜日、午前11時に管理事務所ガイドツアー 前に集合、参加自由

動物映画会…第4日曜日、午前11時から午後1時半からレクチャーホールにて、参加自由

フポイント…週末などには、随時、飼育員が各担当動物舎前においてフポイントガイドも実施しています。



福祉体験学習として老人ホームを訪問し、お年寄りを介助。

**将来の目標に応じた
一〇〇科目を超える授業**

総合学科に入学すると、まず一年次は、全員が国語や数学などの必修科目を受けます。

**中学生からも注目集まる！
不登校者や中退者数も減少**

導入から五年を経た金沢北陵高校では、入試倍率が増加

**【お問い合わせ】
石川県教育委員会
学校指導課**
☎076(223)9401

学校名	設置系列	
金沢北陵高校	人間科学/福祉・健康科学/国際ビジネス/環境工学/生産技術	(平成7年度から開設)
松任高校	人文科学/自然科学/情報・ビジネス/生活創造/国際理解	(平成12年度から開設)
寺井高校	人文科学/自然科学/地域文化・芸術/体育・健康/生活科学・福祉	(同上)
加賀高校	人文科学/自然科学/福祉・健康/情報・産業/ライフデザイン	(同上)



学びたい科目を自分で選べる！ 新たに二高校で「総合学科」を設置 一人ひとりの個性や夢を伸ばします

**興味や進路に基づき
独自の時間割を作成**

総合学科は、平成六年度から全国的に導入されている学科で、石川県では、平成七年

度に金沢北陵高校がトップを切って導入。平成十二年度からは、新たに松任高校、寺井高校、加賀高校の三校が総合学科としてスタートします。

総合学科では、自分の興味や進路などに基づいて、生徒一人ひとりが独自の時間割を組むことができます。

さらに、「産業社会と人間」という授業の中で、職業や生き方について深く考えながら、二、三年次で学ぶ学習計画を作ります。

二、三年次からは、必修科目に加え、選択科目を学びます。選択科目は、基礎的なものから専門的なものまで一〇〇を超え、その中から自由に科目を組み合わせて時間割を作成します。たくさんある科目の中から体系的に学んでもらうために、各高校では科目選択の目安として系列を設けています(下表)。



パソコンを使った商品の受注についてシミュレーションする商業の授業。

授業は少人数制が中心となっていて、系列にとらわれない科目選択も可能です。

授業は少人数制が中心となっていて、系列にとらわれない科目選択も可能です。

するなど、中学生の関心も高まっているほか、不登校者や中退者数の減少、進学率のアップにもつながっています。

石川県では、平成十六年度までにさらに津幡、七尾、柳田の三地域に総合学科を開設する予定です。進学はもちろし、「専門分野の基礎的な知識や技術を学びたい」「就職に役立つ資格をとりたい」「いろいろな授業を受けて進路を考えたい」など、さまざまな学習ニーズに応えています。

白山自然保護センター中宮展示館 白山国立公園の自然と 山ろくの人々の暮らしを展示

吉野谷村中宮にある白山自然保護センター中宮展示館が5月中旬に、リニューアルオープンします。白山国立公園の豊かな自然や山ろくの人々の暮らしを、楽しみながら学ぶことのできる展示に力を入れています。周辺には「蛇谷自然観察園」や「川の生態観察園」もあります。ぜひお立ち寄りください。



豊かな自然に囲まれた中宮展示館。



白山麓の自然や民俗を知ることができます。



分校の教室をモデルにした展示スペース。机の板を開くとさまざまな展示物が見られます。

分校の教室を 再現した展示スペース

中宮展示館は、国道三六〇号沿いの白山一里野温泉スキー場を過ぎて、白山スーパー林道のゲート手前にあります。

平成八年二月に起きた雪崩で展示室の一部が損壊し、その改築を機に展示内容を充実させました。

特徴の一つは、当地にあった中宮小中学校温泉分校の教室をモデルに再現した展示スペースです。オルガン、机、いすなどが並べられ、郷愁を誘います。

机の板を開くと、白山麓で生活していた人々がふだん食べていた食品の模型が現れます。壁には白山麓の歴史や民俗を説明するパネルを掲示し、往時の白山麓の暮らしの様子を伝えてくれます。

白山にすむ動物の 生態を多様に展示

白山の自然を学ぶコーナーでは、ニホンザルやニホンカモシカ、ノウサギ、テンといったブナ林にすむ動物たちの生態を分かりやすく紹介しています。

動物が冬の間、どのように暮

【お問い合わせ】 中宮展示館

吉野谷村中宮
☎076199(6)7111
白山自然保護センター
吉野谷村木滑又4
☎076199(6)5021



【利用案内】

■開館 午前9時～午後4時半
■閉館日 5月～11月上旬(冬期間閉館)
■入館料 無料

らしているのか分かるよう冬のブナ林を再現した立体模型や、毛皮に触ってその動物が何かを当てるクイズコーナー。白山麓の地形が一目で分かるジオラマや、鳥の鳴き声が聞ける音響設備、ハイビジョン映像などもあります。

白山自然保護センターでは「白山の自然について興味と理解を深めたら、周囲に広がる本物の自然との触れ合いを楽しんでみたい」と話しています。

石川県にはふるさとの味がいっぱい。地域の特産品づくりにさまざまなグループが励み、懐かしくて新しいふるさとの味をつくりだしています。

しろ山姉妹

(野菜・山菜を使った菓子)

七尾
nanao

砂糖菓子になった 野菜や山菜はいかが



「しろ山姉妹」は、フキ・シヨウガ・ゴボウ・大豆など

四季折々の野菜や山菜に砂糖、ごま、焼酎などを加え2時間ほど煮つめて乾燥させた砂糖菓子です。繊維質の豊富な健康食品として、また、お茶請けとして、子どもから大人まで幅広い年代の方に喜ばれています。城山グループは、12年前、地元農家の主婦たちが集まってつくりました。

真心のこもった手づくりの商品は、注文販売や、JR七尾駅前のリボン通りにある「中山間ふるさと産品館」、道の駅「いおり」(七尾市庵町笹ヶ谷内)などでも販売されています。

【お問い合わせ】

七尾市国下町子3-1
JA能登わかば徳田支店
加工所
城山グループ
代表 大窪 静子さん
☎0767(57)1011



商品のパック詰め作業。防腐剤を一切使わず自然の風味をそのまま生かしています。

かやの 栢野大杉草だんご

(ヨモギ入りの団子)

山中
yamanaka

ほのかに広がる ヨモギの苦味と香りが人気



樹齢2,300年といわれる巨大スギで有名な菅原神社の前に、平成2年にオープンした「かやの栢野大杉茶屋」。スギの名にちなむ「栢野大杉草だんご」は、ヨモギを練り込んだ草団子で、ひと口ほおばれば、ほのかなヨモギの苦味と香りが、口中に広がります。発売以来、口コミで静かな人気を呼んでいます。

新鮮なヨモギを使用するため、商品加工もお店の営業も、4月下旬から12月中旬までの期間限定です。

草団子のほか、じっくりと熟成させた「あしたば味噌」や塩分を控えた梅干し「あいのしずく」などの加工と販売にも取り組んでいます。

【お問い合わせ】

江沼郡山中町栢野町
ト10-1
JA加賀山中支店
農産加工施設
かやの栢野大杉茶屋
代表 辻 栄子さん
☎0761(78)5489



催事販売の様子。各種イベントにも参加し、地域の活性化と町おこしに役を果たしています。

▶「ふるさとの味」のお問い合わせ 石川県農業情報センター 金沢市才田町戊295-1 ☎076(257)9150

県政に対するご意見・ご提言をお寄せください!

●前略 石川県知事

住所・氏名・年齢・職業をご記入のうえ、郵便またはファックスでお願ひします。

〒920-8580 (住所の記入不要)

石川県広報広聴室

「前略」 石川県知事あて

FAX 076(257)9474

●いしかわ夢づくりEメール

県ホームページでも受け付けています。

<http://www.pref.ishikawa.jp/>

? クイズみんなでチャレンジ

全問正解者の中から抽選で50人の方に、いしかわ動物園の入園券を2枚セットでプレゼントします。ふるって応募下さい。

Q1 子どもたちの健やかな成長を願い、県がスタートさせるプランは?

- ① いしかわ子どもものびのびプラン
- ② いしかわ子どもすくすくプラン
- ③ いしかわ子どもすこやかプラン

Q2 いしかわ動物園で飼育されているアジアゾウの名前は?

- ① トニー
- ② サリー
- ③ サニー

Q3 白山自然保護センター中宮展示館はどの村にある?

- ① 白峰村
- ② 尾口村
- ③ 吉野谷村

はがきに、クイズの答えと住所・郵便番号・氏名・年齢・職業・電話番号をご記入の上、〒920-8580 (住所の記入不要) 石川県広報広聴室「ほっと石川」係までお送りください。

締め切りは平成12年5月31日(当日消印有効)